

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語 ・					学期	曜 日	校時
英 語 名	German ・							
担 当 教 官 名	目 正勝	単位数	1 単位	必修 選択	必修	前期 後期	木曜日 木曜日	3 校時 3 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
初級文法の基礎の上に、物語などのドイツ語文章を読んでゆく力を身につける。 2 冊の教科書を読む。前期は、文法をさらによく理解するために、練習問題をかねた、短くまとめられた童話 3 篇をとりあげる。それを読み終えたあと、スウェーデンの女流作家アストリッド・リンドグレンの「長くつ下のピッピ」(1 9 4 4 年) のドイツ語訳を読む。 後期も前期に続いて「長くつ下のピッピ」を読み進んでゆく。文法をいくつか焦点をしぼってとりあげる。 どちらのテキストも平易なドイツ語で書かれているので、自分で辞書を引きながらどんどん読んでゆくことができる。教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。 テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキストは 2 冊使用する。 『童話で学ぶ初級ドイツ語文法読本』 清水威能子 他著、朝日出版社 『長くつ下のピッピ』 稲木勝彦 編、行人社								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
2 F 2 7	定期試験 (約 9 0 %) および平素の学習成績、授業への参加状況等 (約 1 0 %) を考慮して評価する。							
授 業 計 画								
先に のテキストの方から読む。1 2 課に分かれているので、1 回に 1 ～ 2 課ずつ (課末の練習問題も含めて) 進む。前もって 4 ～ 5 人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。 のテキストの方は、1 回に 1 ページ半ぐらいずつ読んでゆく。								
前期 第一回 1 ～ 2 課 動詞の現在、格変化など 第二回 3 ～ 4 課 再帰動詞 第三回 4 ～ 5 課 第四回 6 課 形容詞、分離動詞など 第五回 7 課 第六回 8 課 第七回 9 課 第八回 1 0 課 受動態、関係代名詞、 第九回 1 1 課 接続法など 第十回 1 2 課 第十一回～第十五回 「長くつ下のピッピ」 1 ～ 1 0 頁								
後期 第一回 ～ 第十五回 前期に続いて「長くつ下のピッピ」を読んでゆく (1 1 ～ 4 5 頁) 文法では、とくに重要動詞の 3 基本形、現在完了、接続法、また代名詞の用法などに焦点をあてる。								